

ニラ味尤美ナリ、且補益於人、與○奥羽誤恐州ニキサカタ蚶鴻ト云名所アリ、キサノ名古シ、

〔古事記上〕大穴牟遲神○中卽於其石所燒著而死爾其御祖命哭患而參上于天、請神產巢日之命時、乃遣鼈貝比賣與蛤貝比賣令作活○下

〔古事記傳下〕鼈貝比賣、鼈は蚶を基と作るを誤れるものなり○略 註されば伎佐賀比と訓べし○中略今阿加々比と云物なり○中倭姫命世記に、阿佐加々多爾伎佐字阿佐留アザルとあるも、蚶子アザフ求に

や○下

〔朝倉亭御成記〕九獻 あかゝゐ

〔桃源遺事五〕一西山公○光閏川むかしより禽獸草木の類ひまでも○中其國よりこの國○常陸へ御うつしなされ候○中

蟲之類○中魁蚶アカガイ武州より御取寄、常陸の海へ御ばな候、

〔新撰字鏡虫〕蝶アカガハ即刃反城也、

〔倭名類聚抄龜貝〕貽貝 爾雅注云、貽貝一名黑貝、貽音怡、和伊加比、

〔箋注倭名類聚抄龜貝〕釋魚、玄貝貽貝、郭注、黑色貝也、此所引蓋舊注、然爾雅無黑貝之名、不得云一名黑貝、此恐一名玄貝之誤○中按據爾雅、貽貝、貝之黑色者○中今俗子安貝者、非伊加比、陳藏器曰東海夫人生南海似珠母、一頭尖、中衡小毛、海人亦名淡菜、此可以充伊加比也、俗呼伊乃加比○下略

〔伊呂波字類抄伊動物〕貽貝 イカヒ 黑貝 同

〔運歩色葉集伊〕貽貝

〔東雅鱗十九〕貽貝 イガヒ○中見えたり申略むかし或人の云ひしは、イカヒとはアコヤノタマと云ふなりといへり、後に西行法師の歌を見るに、あこやともいが珠